

百日咳(ひやくにちせき)にご注意下さい！



加古川健康福祉事務所
健康管理課 R7年4月

1 百日咳ってどんな病気？

- ・百日咳菌の感染により、名前のとおり長く続く咳が特徴です。
- ・感染力がとても強く、家庭内感染が多く報告されています。
- ・1歳未満の赤ちゃん、特にワクチンを接種していない3か月未満の赤ちゃんが感染すると、激しい咳込みによる呼吸困難や脳症や肺炎を合併するなど、命の危険があります。

2 管内（加古川市、高砂市、稲美町、播磨町）の流行状況は？

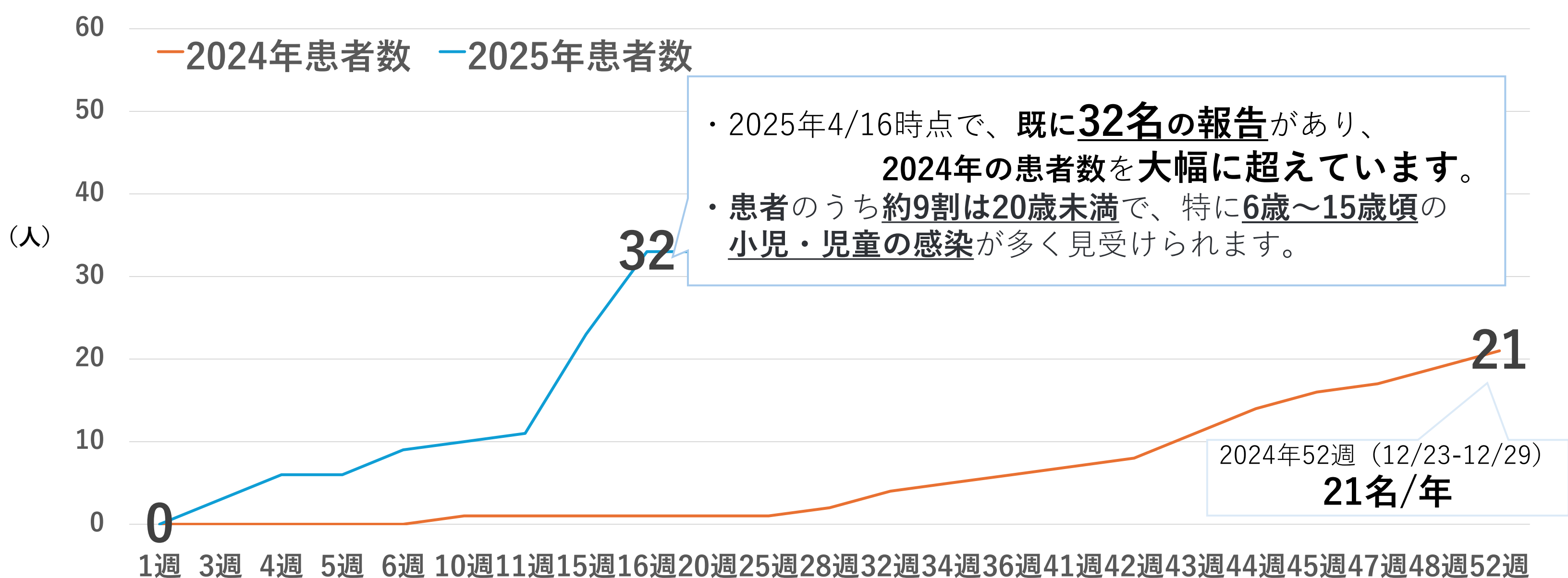


図1 加古川健康福祉事務所管内（加古川市、高砂市、稲美町、播磨町）の2024年、2025年の患者数の比較

3 症状は？

- ・症状の経過は3期に分けられ、全経過で約2～3カ月で回復するとされています。
 1. カタル期（約2週間持続）：かぜ症状で始まり、次第に咳が激しくなります。
 2. 痙咳期（けいがいき）（約2～3週間持続）：短い咳が連続的に起こり、息を吸うときに笛の音の様なヒューという音が出ます。
 3. 回復期：徐々に激しい発作はなくなり、2～3週間で改善してきます。

4 感染経路と、感染対策は？

- ・主な感染経路は飛沫感染、接触感染です。感染者の咳や、くしゃみなど、しぶきに含まれる菌を吸い込んだり、手や指を介して自分の鼻や口、目などの粘膜に触れることで感染します。

①手洗い、手指消毒

- ・せっけんと流水で手洗い。
- ・アルコール消毒。



②咳エチケット

- 咳やくしゃみをするとき、
- ・マスクを着用する。
- ・ティッシュやハンカチ等で口や鼻を覆う。
- ・上着の内側や袖で覆う。



③予防接種

- ・予防接種（定期接種）の対象となる、生後2ヶ月以上7歳6カ月未満の方で、接種が済んでいない方は、ご検討下さい。



基本的な感染対策を徹底し、咳が続くなど、疑わしい症状が出た場合は、かかりつけ医にご相談ください。